

⑨ 広報によこしば  
問 町5か年計画の目標はどの程度達成されたのか伺  
答 5か年計画は、(1)魅力ある郷土をつくるための生活基盤の整備(2)快適な生活をお

## 5か年計画の進ちょく状況



爆発するエネルギーを町づくりの活力に  
(町民体育祭から)

問 昭和60年度の予算編成にあたっては、何を重点として取り組んでいくのか。  
答 厳しい財政事情下ではあるが、行政全般にわたる調和に配意しながら、産業開発道路の改良、横芝小わきから栗山線の改良、横芝小わきから栗山

## 60年度予算

くるための生活環境の整備(3)心豊かな生活をおくるための福祉対策の充実(4)豊かな町民生活を実現するための産業の振興(5)健康で文化的な人づくりのための教育文化の振興――の5項目を柱として施策を盛り込み、その総じては順調に進ちょくしていると考えられる。

財政的な問題や時代の変化などから、すべての計画が予定通りというわけにはいかないが、実現に努めている。

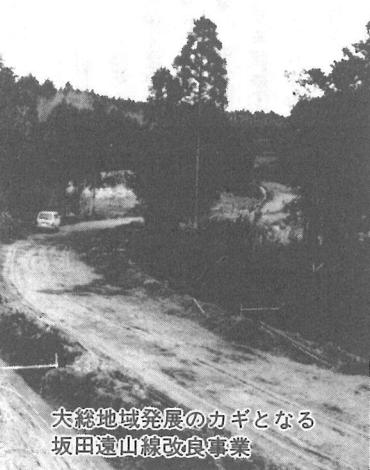
## めざして／新年度財政方針

防止用マットなど日常生活用具の貸与(15)ボランティア連絡協議会の設置・活動(16)老人ホームへの収容(17)増改築資金の貸し付け

――などがあげられるが、老人対策については、国・県と共に、町も重要なテーマとしてこれに取り組んでいる。

## 大総地域の発展を重点施策に／騒音下の振興策

問 航空機飛行直下の、旧大総土地改良区流



大総地域発展のカギとなる坂田遠山線改良事業

しく立ち遅れている。今後どのようにこの地域の産業振興を推進し、住民福祉の向上を図っていく方針なのか。

答 大総地域については、騒音を切り離して町政を進めることはできない。このため、これまでできる限りこの地域

方面に至る幹線道路への歩道設置、農村総合整備モデル事業、取立・長倉・姥山方面への排水路整備、商工業振興策としての工業団地計画の推進や商協対策、コミュニティづくりを目的とした地区集会所の建設などを重点施策として、積極的な町づくりに努めていく方針である。

■予算編成の手順 まず、町長が作る予算編成方針に基づいて、各課から財政担当課へ予算要求書がか。

問 方自治体への財政負担の肩代わりを意味するものと受け取れる。とりわけ、福祉予算への影響が憂慮されるが、町への影響はないか。

答 心配されている国の福祉予算1割カットは、現状では県が肩代わりをしているので、町の負担とはならない見込みである。

問 方自治体への財政負担の肩代わりを意味するものと受け取れる。とりわけ、福祉予算への影響が憂慮されるが、町への影響はないか。

答 心配されている国の福祉予算1割カットは、現状では県が肩代わりをしているので、町の負担とはならない見込みである。

問 町では条例の定めによつて、契約予定価格が三千万円以上の工事または製造の請負については、議会の議決を要するとしている。

当初契約時に三千万円未満のものであつても、追加契約で三千万円を超えることが当初から明らかな場合は、どのような措置をするのか。

答 分割できない性格の契約であれば三千万円を超えた時点で、議会の議決を求めることになる。

## 契約の議決